

チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	- (事務局用)	児童の長期休暇期間における子育て支援	石川県金沢市
アイデア名 (注1) (公開)	NPO などユニークな人材と市内の文化施設等のピンポイント活用！ アプリを活用した人材 & 施設登録型一時預かり学童保育事業		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	OPEN KANAZAWA Ver.1		
チーム属性 (公開)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 市民によるチーム <input type="checkbox"/> 2. 学生によるチーム <input type="checkbox"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数 (公開)	5名		
代表者情報	氏名 (公開)	高橋律子	
メンバー情報	氏名 (公開)	布施 安子、吉尾 双輔、雄谷 峰志 福島 健一郎	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

（1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて**内容そのもの**をわかりやすく示してください。**1 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

実施主体

NPO + 地域団体

目的

保護者が午後 2 時か 3 時くらいまで働く家庭で、学校があるときは必要ないが、長期休暇のときに必要となる子どもたちの安全のための預かりを実現する。

場所

市内各地の短期間でも利用可能な施設（文化施設、宿泊施設、農園、小学校など）

方法

長期休暇期間限定の学童保育事業を「一時預かり」として捉えることで、通年や継続的な利用が難しい施設や、人材の確保などの課題を解決するアイデア。長期休暇期間や期間限定で活用可能な学校や公的文化施設を主に活用し、指導者となる人材については地域で活用する子育て支援団体やスポーツ振興団体などユニークな活動をする NPO メンバーの登録制とし、それぞれの団体の特性をいかした学童保育事業を実施する。「見守り隊」として派遣される人も、利用者もそれぞれの都合に合わせて利用できるとともに、利用者はコンテンツも選択することができる。（預かり期間：平日 8：30～15：30）

利用にあたっては、新規に開発するアプリを活用する。派遣可能な人材側は「派遣できる日」と「行ける場所」を事前に登録し、場所の空き状況を確認後、スケジュールを確定する。日程は長期休暇期間中を網羅するよう設定する。利用者はそのスケジュールを見て予約を入れるシステムを作る。預ける人が多い場所はどこか、曜日や時間帯に差はあるかなど、利用者のデータもとり次年度に活かしていく。

実施にあたっては本当に困っている人が利用できるよう、アプリの登録項目に勤務時間や、通常の学童保育の利用の有無を自己申告する仕組みを作る。あくまでも自己申告ではあるが、本当に困っている人が優先的に利用できるよう配慮する。

(2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、**2 ページ以内**でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

1. 利用層について 午後2時から3時くらいまで働く「パート・アルバイト等就労者」

データ

・金沢市担当者からのヒアリング

「長期休暇に放課後児童クラブを利用したい」という問い合わせは多く、専業主婦もいるが、多くが午後2時から3時くらいまで勤務している層が多いとのこと。学期中は子どもの帰宅前に帰れるが、長期休暇時には5時間から6時間不在となり、子どもの安全のために預かれる場所を探しているが金沢市内既存の放課後児童クラブのほとんどが、定員や子どもたちへの充実した指導のため通年登録者のみの利用に限定しており、不安を抱えている。

・金沢市福祉局こども福祉課編『金沢市子ども・子育て支援事業計画及びかなざわ子育て夢プラン 2015（仮称）策定のためのアンケート調査結果報告』（金沢市、2014年3月）「Ⅱ子育てに関するアンケート調査（対象：小学生の保護者）」

小学生の子育てをする母親はパート・アルバイト等で5～6時間程度の勤務を希望する層が多いことがわかった。

- ・保護者の就労状況：パート・アルバイト等の就労者（40.5%）>フルタイム（33.0%）（p.157）
- ・母親の就労希望：パート・アルバイト等（87.1%）>フルタイム（12.9%）（p.165）
- ・1日あたりの就労希望時間：4～5時間未満（25.8%）、5～6時間未満（39.5%）、6～7時間未満（16.9%）、7～8時間未満（0.8%）

2. 現状 祖父母やママ友、習い事、配偶者の休日のみ勤務するなど、相当な工夫をして乗り切っており、かなりの負担であることが見えてくる。民間での夏休み受け入れもあるが非常に高額である。

データ

・「子どもの夏休み中、パートはどうする？ 預け先、勤務時間…先輩ママがアドバイス」「タウンワークマガジン」（2016年6月23日、https://townwork.net/magazine/job_wpaper/w_trend/27425/）【最終アクセス2017年12月12日】に掲載の2016年全国20～45歳の女性で、「子どもが幼稚園時代にパート・アルバイトの経験のある方」「子どもが小学校1～2年生のときにパート・アルバイト経験があり、日頃学童保育を利用していない方」100名へのアンケート

- ・夫または自分の両親に診てもらった（39.3%）、夫の仕事が休みの日のみ出勤した（13.1%）、ママ友に見てもらっていた（3.3%）、習い事に通わせた（1.6%）、預け先をいくつか組み合わせて乗り切った（19.7%）

・某民間英語塾 B

夏休み週5回利用料 10,4000円（ウェブサイトより）

3. 課題解決を妨げる要素 場所と人材

データ

■金沢市担当者からのヒアリング

- ・学期中の体制を「夏休みのみ」増強するのは難しい。
…年度当初に、法令で定められた定員上限まで人数を確保するので、年間を通じて物理的なスペース（定員）の空きがない。

- ・場所…広さ、安全面、周りの環境（騒音）等にすべて適した場所がない
- ・人材…安心して預けられる人を一時的にアサインするのが難しい

4. 場所の提案 夏休み中、毎日使うことはできないが、1～3日なら使える市内の施設を柔軟に活用していくのはどうか。【文化スポーツ施設の活用】【小学校の空きスペース】【教育プラザの活用】

データ

- ・金沢芸術創造財団ウェブサイト：<http://www.kanazawa-arts.or.jp>
- ・金沢文化振興財団ウェブサイト：<http://www.kanazawa-museum.jp>
- ・金沢市スポーツ事業団ウェブサイト：<http://www.kanazawa-sports.jp>

5. 人材の提案 【NPO や地域団体の活用】【ファミリーサポートセンター、ホームヘルパー、シルバー人材センターなどの利用】

・市民協働の実績のある金沢市では、NPO を中心とした多様な人材が育っている。人材としてファミリーサポートや家政婦などの登録型の人材も見込めることから、個性的な各団体に人材登録をしてもらいまず人材のボリュームとバリエーションを確保しようと考えた。

データ

- ・「協働をすすめる市民団体 登録団体一覧」
<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/22050/kyoudou/dantaiichiran.html>
(最終アクセス：2017年12月12日)

6. アプリの活用

子育て情報はインターネットを介して入手されるケースも多い。多くの人を手軽に利用でき、予約時の即時性を確保するため、アプリの活用が必要と考える。派遣側も利用側も使い勝手の良いシステムを構築することで、多くの人に参加できる仕組みとしたい。さらに児童を預かる場所や実施状況など様子を伝える機能、利用者データを蓄積することで課題を「見える化」するなど、保護者の場所が変わる不安の解消や本来的な保護者のニーズを把握する。

データ

- ・小学生の保護者の「子育て情報の取得方法」は、「インターネット」33.3%（金沢市子ども福祉課編『かなざわ子育て夢プラン 2015』（2015年）資料編 p.17）



複数のNPOや地域団体、企業、公共施設を連携することで、負担を分散した、『無理をしないサポート』を実現する

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

ヒト

実施のための人材

イベント1回の定員：20名程度

見守り隊 人数：3名

見守り隊 登録数：10団体 50人程度の登録人数を目指す。

アプリ開発のための人材（委託など）

周知、利用促進のための人材：

金沢市、メディア、各NPO団体のネットワーク、(社)コード・フォー・カナザワ（Code for Kanazawa）

[NPO具体例]

- ① NPO法人くくのち…金沢市の中山間地、東原地区にて、豊かな自然を活用した地域づくりの実績あり。
- ② NPO法人クラブぽっと…地域総合型スポーツクラブ運営、金大生を中心に「ぽっと遊び塾」など出前講座開催
- ③ NPOひいなアクション…地域と女性とアートをキーワードに、アートを気軽に楽しめるワークショップや場所づくりの提案
- ④ NPO法人シニア道場楽…シニアの就活支援・学童クラブにおいては元教員などの学習支援の人材紹介
- ⑤ その他…地域にある町内会・婦人会・PTAなどの各種団体との協力連携を図る。
- ⑥ NPO法人子育て支援さくらっこ…上記の各団体のコーディネートを担う。

モノ

建物

短期間の有期事業のための独立施設の確保は行わず、金沢市内の資源を活用する。

利用者は定員等の理由により放課後児童クラブに入所することが困難な家庭を想定しており、概ね15時ごろに勤務を終了する保護者の家庭、施設までの送り迎えは、保護者が行うこととする（集合場所は、基本的に市内の中心部にすることで、多くの家庭が参加できるように設定）。

◆市内の施設

- A. 金沢教育プラザ富樫
- B. 金沢市民芸術村
- C. 金沢21世紀美術館プロジェクト工房
- D. 善隣館

◆市郊外の施設（集合拠点をつくり、バスでの移動の場合あり）

- A. 金沢市立医王山小・中学校 …小規模特認校のため、学区の越境可・送迎バスあり
- B. 金沢市立湯涌小学校・芝原中学校 …小規模特認校のため、学区の越境可・送迎バスはないが、バスの補助あり（芝原中学校は来年度生徒数0人、近くに湯涌創作の森あり）

- C.くくのち農園…NPO法人くくのちが運営・インターシップ生を活用・50人ほどの受け入れ可能
- D.湯涌創作の森…各種アートプログラムあり、宿泊設備 20人可・送迎バスあり
- E.キゴ山ふれあい研修センター

設備

各施設の特徴を活かした時間と空間と仲間関係を育むため、放課後児童クラブで用意される遊具は用意しない。昼食は原則保護者の用意だが、施設によっては、調理体験を実施する場合あり。

縁もゆかりもない事業への一時預かりは保護者の心配も大きいので、保護者がインターネットを通じて、いつでも事業の様子を見られるようにするためのアプリを開発する。

施設近隣の医療機関と連携を取り、ケガ等に迅速に対応する。

カネ

収入

利用者負担 1日利用 2000円（学童保育の1日利用は1000円程度だが、一時保育として病児保育と同額を設定。） 助成金など

支出

初期投資（アプリ開発費、救急セットなど）	215万円程度
ランニングコスト クラウドサービス利用料などアプリ運用費（年額）	10万円程度
人件費：時給千円程度確保（登録者数を確保するため。）	60万円程度
その他：施設利用料、保険等	40万円程度

プロセス

